

# 国土情報基盤整備促進議員連盟 御説明資料

## — 国土情報基盤関係 補正予算 —

国土交通省国土地理院  
令和7年12月

補正予算案額

5,992百万円

※このほか、デジタル庁一括計上分139百万円がある。

生活の安全保障・物価高への対応 2,179百万円

- 国土情報基盤の強化及びデジタル技術の活用によるDXの推進

危機管理投資・成長投資による強い経済の実現 3,813百万円

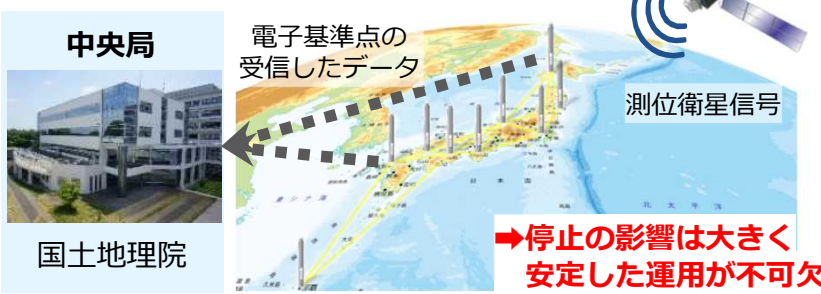
- 防災・減災のための地殻変動監視、測位環境及び地理空間情報の充実・強化
- 防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備
- 安定的な位置情報インフラ提供のための電子基準点網等の耐災害性強化対策
- SAR衛星データ等による全国陸域の地殻変動の監視

# 国土情報基盤(位置情報)の安定的な提供

- 電子基準点は、GPSや我が国の「準天頂衛星(みちびき)」等の衛星測位により国土の位置を決定する施設で、**測量、地殻変動の監視、高精度測位サービスに不可欠**であり、**継続・安定した運用が必須**
- 衛星SARは、衛星からのレーダー観測により**地殻変動を常時面的に監視、発災時の即応性に課題**

## 電子基準点

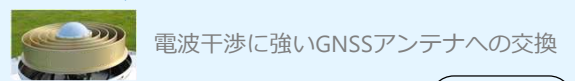
- 全国約1,300か所で**24時間365日連続観測**
- 国土地理院がデータを収集・解析し一般公開
- 電子基準点の位置情報は、測量、地殻変動の監視、高精度測位サービスに不可欠



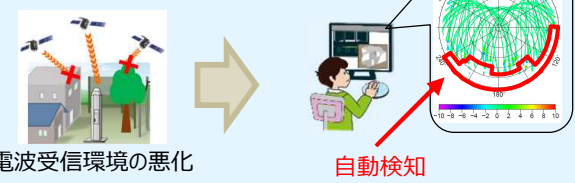
## 電子基準点

### 安定運用のための取組

#### 電子基準点の信頼性向上



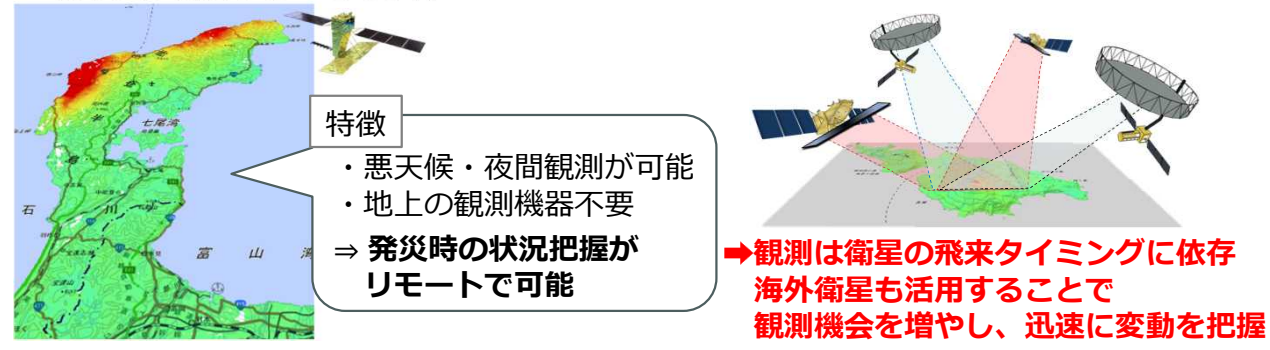
#### データ品質監視環境の構築



「東京千代田」

## 衛星SAR

- 衛星から照射し地表で反射した電波を分析するレーダー技術で、地表との距離等を計測
- 繰り返し観測することで、観測間に生じた距離の変化=地殻変動を把握



## 経済対策の概要・効果

### 【電子基準点】

- 信頼性の高いGNSSアンテナの導入を加速
- データ品質を監視する環境を構築することで、品質悪化の把握に時間を要していたものが、早期に把握して改善処置することが可能となる

### 【衛星SAR】

- 海外衛星の活用システムを順次構築し、発災時の即応性を向上

日本の衛星のみ +海外衛星  
発災時 72時間以内 → 概ね**24時間以内**

## 期待される効果

国土情報基盤(位置情報)を着実に維持・提供

- 準天頂衛星とともに安定した衛星測位環境を提供
- 発災時の位置情報の変化を迅速に把握

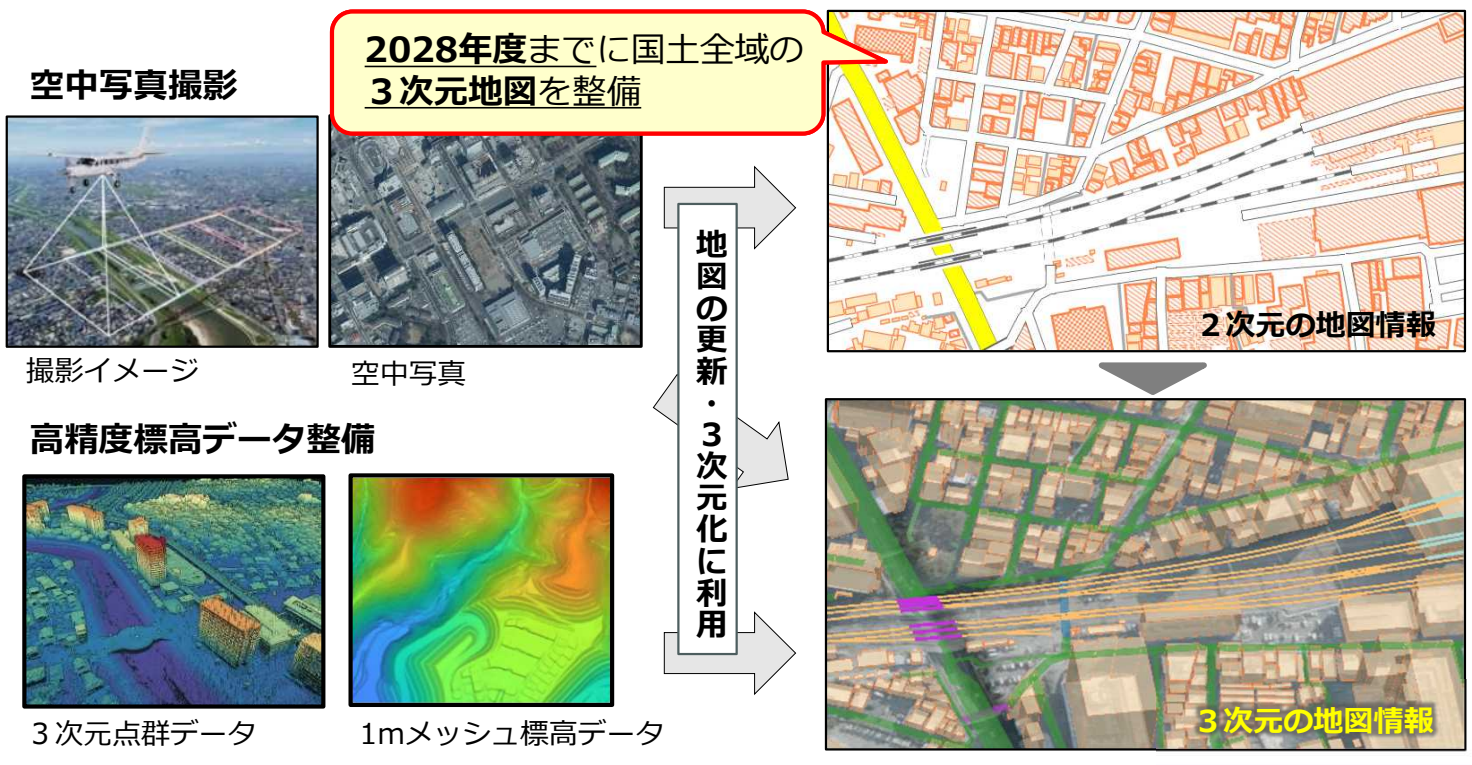


円滑な社会活動を支援  
災害対応・復旧復興に貢献

# 電子国土基本図の鮮度の確保と3次元化の実現

- ・ 電子国土基本図は、我が国の国土の現況を統一した規格で表し、様々な地図の基礎となるデジタル形式の基本図であり、**正確性**や**最新性**が確保された社会の基盤となるデータとして、着実な整備・更新が必要
- ・ 公的基礎情報データベースである**電子国土基本図の3次元化**をデジタル公共インフラとして国土全域で推進

## 電子国土基本図の3次元化



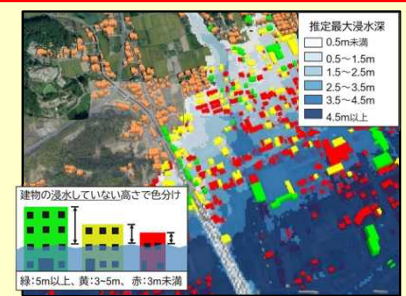
## 経済対策の概要・効果

- ・ 地図情報の3次元化
  - ・ 3次元地図の更新
  - ・ 空中写真撮影
  - ・ 高精度標高データ整備
- 整備を加速
- 
- ・ 技術開発
    - ・ 3次元情報管理装置の開発
    - ・ AI等を活用した地図作成の効率化に向けた技術開発
- を実施

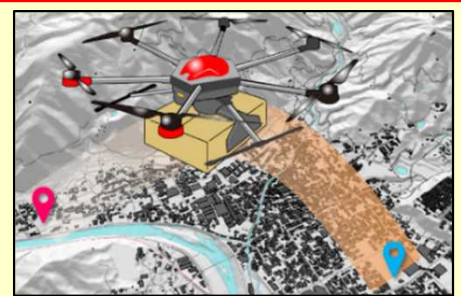
## 期待される効果

- ・ 災害リスクや災害情報の的確な把握・見える化が可能となり、災害時の救助訓練のシミュレーション等の防災対策に貢献
- ・ ドローン物流等のデジタル活用分野における科学技術振興、技術開発に寄与

➔ デジタル社会の実現



詳細な浸水シミュレーション



ドローン物流



# 測量行政のDX

- ・測量技術者（測量士・測量士補）の高齢化や若年層の不足等による測量業界の将来の担い手不足は喫緊の課題
- ・生産性・付加価値向上の観点から、技術の進展に対応した担い手の確保は必須
- ・これらの課題の解決として、作業規程の準則やマニュアルの改定により、新技術が活用できる環境を構築

## 経済対策の概要

### 課題

- ・公共測量を実施する上で、作業規程の準則※やマニュアルに載っていない新技術は導入のハードルが高い



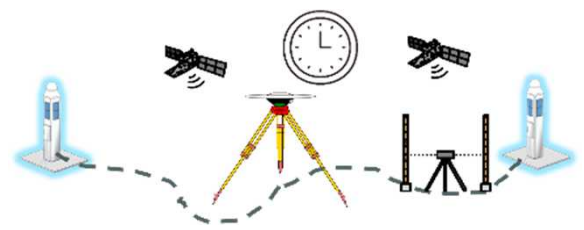
- ・測量業界の将来の担い手不足に対応するには、効率的な測量が求められる



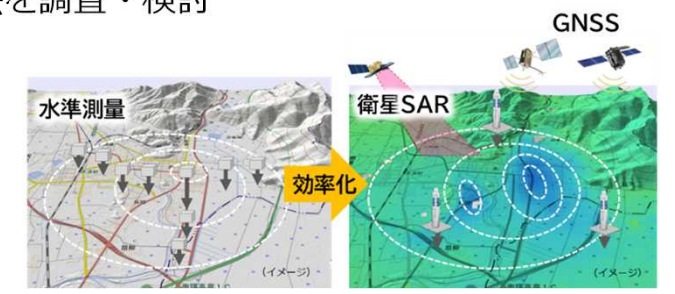
※…公共測量における標準的な作業方法等を定め、規格を統一し、必要な精度を確保するための規範

### 高さ測量のDXの推進

公共測量に導入した衛星SARやGNSS測量を用いた新たな測量を促進するため、高さ（標高）の変動の効率的かつ緻密な把握手法を調査・検討



GNSS測量機器要件及び測量手法の調査



水準測量による地盤沈下把握 衛星SARとGNSSで効率化

### 公共測量作業効率化のための調査検討

作業規程の準則等の改定に向け、準天頂衛星7機体制における測量方法の精度検証や最新のデジタル航空カメラの動向を踏まえた技術的な実証を行う



新技術を活用できるよう、作業規程の準則等を改定



最新のデジタル航空カメラ

### 期待される効果

- ・測量計画機関（地方公共団体等）における容易な新技術導入
  - ・公共測量の効率化（DX）が進み生産性が向上
- ➔ 測量コストの削減に貢献  
測量の担い手確保に貢献